

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は915名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.48 Hくん (平成28年3月卒・機関専攻・現23歳) 沿岸小型船引き網漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 網を入れるときに、つな船に根網（ねづな）を投げてわたす作業をしている。（根網とは、網と船をつなぐ綱のこと。）
- * 網を引いている間に氷を用意する。
- * 網揚げの時は、根網をたぐりながらまとめる。
- * 網揚げの最後は、中の魚をタモですくって魚艙に入れる。
- * 入港後は水揚げ作業、網修理をする。

Q. 大変なことは？

- * たくさん獲れると水揚げ作業が大変である。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 休みが多いこと。

Q. 学園在学中の思い出は？

- ・ 先生とのコミュニケーション。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープのしぼり方。

☆. 在校生へのアドバイス

- * 卒業してから仕事をするまでに、学園で学んだ事を復習すること。実際に仕事する時に覚えていられる。

(平成30年12月13日)